



2025年7月15日

各 位

会 社 名	ジャフコ グループ株式会社
代 表 者	取締役社長 三好啓介
コード番号	8595 東証プライム市場
問 合 せ 先	管理部管理グループ 古賀 慎二
T E L	050-3734-2025

PRI 署名および ESG 投資方針の策定に関するお知らせ

ジャフコ グループ株式会社(本社：東京都港区、取締役社長：三好啓介、以下「当社」)は、責任投資原則 (Principles for Responsible Investment。以下「PRI」という。) の基本的な考え方に賛同し、2025年7月11日に署名機関となりました。また、これに合わせて、当社の投資活動における ESG 投資の取り組みをより一層推進するために、ESG 投資方針を策定しましたので、お知らせいたします。

社会的課題の解決を目指す志の高い起業家が、スタートアップ企業を次々と立ち上げています。これらの成長を支えるベンチャーキャピタル、プライベートエクイティ投資への期待は高まっており、その役割・責任は重要性を増しています。

当社は創業以来、成長ポテンシャルを秘めた有望企業の発掘および投資支援を行い、数多くの上場企業を生み出してきました。いまや、未上場投資運用会社に期待されているのは、経済的リターンだけではなく、投資先企業の中長期的な成長を通じて持続可能な社会の実現に貢献していくことが、私たちが果たすべき社会的役割と考えています。

今般、ESG 投資方針を策定し、投資の意思決定プロセス全体に ESG の観点を取り入れ、投資先企業等との対話や協働を図ることで、当社の社会的責任とファンド出資者に対する受託者責任を果たして参ります。

記

ESG 投資方針

1. 目的

当社は、「挑戦への投資で、成長への循環をつくり出す」というパーパスを掲げ、「新事業の創造にコミットし、ともに未来を切り開く」をミッションとしています。

起業家や経営者の挑戦に投資を行い、世の中に必要とされる新しい技術・サービスを普及させることで、持続可能な社会を実現することが、私たちの使命です。

当社の事業の本質である、社会課題を解決する有望企業の発掘、投資後の対話を通じた成長支援と EXIT の過程に加え、市場の発展のための取り組みを通じて、スタートアップエコシステムの発展に貢献することで、社会および経済を循環させることを目指しています。

有望企業の発掘から EXIT に至るまでの各投資プロセスに ESG の観点を取り入れ、投資先企業の中長期的な企業価値向上を図り、社会的責任及び受託者責任を果たして参ります。

2. 適用範囲

本方針は、当社が運用するファンドにおける投資活動全般に適用します。ただし、当社の影響力が限定的な投資先企業の場合は、可能な限りにおいて本方針を適用します。

3. ESG の観点

当社は、全ての投資段階における意思決定のプロセスにおいて、主に以下の ESG 要素を考慮します。

- ・ 環境：気候変動、生物多様性の保全、エネルギー効率向上、資源の有効活用など
- ・ 社会：人権尊重、労働基準の遵守、従業員の健康・安全など
- ・ ガバナンス：コンプライアンス遵守、透明性の確保、反社会的勢力の排除など

4. 報告

当社は、投資先企業に対し ESG に関する適切な情報開示を求めると共に、必要に応じて、ファンドの投資家に対して活動状況と進捗状況を報告します。

5. 協働

当社は、本方針の実行を通じて、ベンチャーキャピタル業界及びプライベートエクイティ業界における ESG 投資の浸透・推進に貢献します。

6. 対話

当社では、投資先企業の ESG リスクを見極め、適切な取り組みを推進する活動（サステナビリティチェック）を定期的実施します。経営陣とのコミュニケーションを通じて対応を促し、リスク低減と企業価値の創出を図ります。

7. 改廃

本方針は、投資委員会の決議および取締役会の承認により、変更することができます。

制定日：2025年6月11日

<PRI について>

PRI は、投資家の投資の意思決定プロセスや投資方針の決定に環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) の課題を組み込み、受益者のために長期的な投資成果を向上させることを目的として、2006 年に国連環境計画金融イニシアチブ (UNEP FI) と国連グローバル・コンパクト (UNGC) によって策定された行動指針です。

機関投資家や投資運用会社を中心に、世界 90 か国以上、5,000 以上の機関が署名を行っている国際的な枠組みです。

<https://www.unpri.org/>

以上